

【児童・地域の特徴】

- 1 児童
 - ・学年を超え仲よくできる。
 - ・前向きに物事に取り組む。
 - ・自ら考えを持ち、粘り強く取り組む力を育てたい。
- 2 地域
 - ・豊かな自然を生かし、知恵を出し合って自立する村づくりを推進している。
 - ・知・徳・体の三位一体の人間教育を進める。
 - ・下條を知り、下條を愛する子どもに育ててほしい。

平成30年度 下條小学校

教育構想

(グランドデザイン)

<学校教育目標>

自ら学ぶ子(しっかり学習)
心豊かな子(もとう思いやり)
健やかな子(めざそうじょうぶな子)

【願う学校像】

希望と勇氣にあふれ、「ひとりだち」を目指して進む(望勇の精神)学校
(明るい声が響きあい、笑顔あふれる下條小学校)

【学校経営方針】

- 1 子ども一人一人の人格を尊重し、内なる力を伸ばし、自ら学ぶ教育を進める。
- 2 職員の和を大切にしながら切磋琢磨し、教職員としての資質の向上に努める。
- 3 教育環境の整備充実を図る。
- 4 保護者・地域に信頼され、地域に開かれた学校にする。

<本年度の重点> 「笑顔あふれる下條小学校」をめざして

- ① 学び合い ② 響き合い ③ 支え合い

学び合い

◎ 友と学び合い、表現力を高める子どもを育てる授業をめざして

- ① 授業改善を進めるための重点的な取組
 - ・基礎学力定着への取組
<ドリルタイム(クリア問題・チャレンジ問題への取組)、読書タイム充実(内容向上へのアドバイス)、適時の個別指導、家庭学習の充実(宿題チェック週間)、「家庭学習のてびき」の活用>
 - ・友と学び合い、表現力を高める授業づくり
<3 観点(ねらい・めりはり・みとけ)を意識した授業(板書の構造化)、書く活動を生かす、話し合い活動の充実(ペア・グループ活動、話し方・聞き方の例示)>
 - ・特別支援教育の充実
<個別の学習支援体制、授業のユニバーサルデザイン化>
- ② 児童につける力が身に付いたかどうかを評価するための検証方法
<全国学力・学習状況調査・NRT検査・PDCA調査・クリア問題・チャレンジ問題への取組等の分析と授業改善(まとめのテストで平均 8 割以上をめざす、平均を下回った子どもたちの得点力アップをめざす)>
- ③ 教職員の指導力向上に向けた校内外研修
 - ・保・小・中連携の充実 ・職員研修の充実
<職員及び幼児・児童・生徒の交流と学び合い、授業を通じた研修、小中合同学習指導研修会、実践的な職員研修>



響き合い

◎ 明るくけじめのある児童をめざして

- ① さわやかなあいさつと会話
<あいさつの手本、生活目標の設定、児童会の取り組み(あいさつ週間)>
- ② だまり掃除・見つけ掃除
<見返し、掃除の学び合い>
- ③ 居心地のよい学級集団づくり
<帰りの会の認め合い、よいところさがし、全校音楽と学級音楽、Q-U検査の活用、集団適応の推進>
- ④ みんなで進める運動、生活習慣づくり
<全校運動、全校で進める運動(なわとび、マラソン)、めあてを持った体育的行事、体力テストの分析、基本的な生活習慣の確立(健康チェックカード)>
- ⑤ 歌声が響き合う学級・学校づくり



支え合い

◎ 地域家庭と共に歩む学校をめざして

- ① 学校・保護者・地域の三者で進める開かれた学校づくり
<カッセイカ会議の推進(地域ボランティアとの連携)、学校評価の活用、地域の声、安心安全体制作り>
- ② 相談しやすい学校づくり<心と体の相談室(保健室)、複数の相談ルートづくり(全職員)、相談週間、外部機関との連携、積極的な情報発信>
- ③ 地域の方の思いに学ぶふさと学習の充実
<下條ふるさと塾・ふるさと巡り・クラブ活動、地域素材の教材化、食育・キャリア教育の推進>
- ④ 異年齢集団による活動の充実
<なかよしの日、支会の遊び、姉妹学級交流、児童会集会>

